

“思いやりの心による医療”を理念に

東京歯科大学 水道橋病院



水道橋畔発

第27号 平成30年6月



Content

東京歯科大学水道橋病院 病院長 矢島 安朝
[病院長より] 更なる連携強化に向けて

平成29年度紹介元クリニックランキングTOP50

東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携委員会委員長 山下 秀一郎先生 ×
東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携委員会学外委員 臼田 準先生
[対談] 東京歯科大学水道橋病院
地域医療連携について

東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医ご案内 (レギュラースタッフ)

東京歯科大学歯科矯正学講座 教授 末石 研二
[コラム] 不正咬合の起源はいつか。

第1回水道橋病院ロビーコンサート

Transmission from Suidoukyouhan



病院長より

東京歯科大学水道橋病院 病院長 矢島 安朝 更なる連携強化に向けて

大暑の候、先生方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日、北台湾インプラント学会の特別講演に招かれ、猛暑の台北市に行きまわりました。案内していただいた先生のはからいで、台湾の陳時中 厚生大臣（衛生福利部）とも会談ができました。なんと大臣は台北医科大学出身の歯科医師で、台湾で初めての歯科医師出身の厚生大臣だそうです。台湾における歯科医師の地位の高さ、収入の多さ、医学部よりも高い歯学部偏差値等が示すように、歯科界の勢いの良さが歯科医師の厚生大臣を生み出しているのだと実感いたしました。羨ましい限りです。いつの日か わが国にも、歯科医師免許を持った、臨床経験のある、歯科医療現場を肌で知っている厚生労働大臣が誕生してほしいものです。

さて、東京歯科大学水道橋病院は、千葉からの移転が完了してから3年が経過いたしました。移転前の平成24年度と昨年度（平成29年度）の様々な病院データを比較すると、医療収入は1.7倍、延べ患者数は1.4倍、新患者数は1.2倍に達しています。特に昨年度の医療収入は、千葉病院に本院があった時と比較しても、本学130年の歴史の中で過去最高の収入が達成されました。

これらはすべて、大切な患者様をご紹介いただいた紹介医の先生方のお陰と心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

「この学校に職を奉ずるものは、血脇先生に負けないように成功、不成功にこだわらず力を尽くすことを学んでいただきたい」これは、明治39年、水道橋三崎町に本学の白亜の校舎と病院が完成した落成式において、本学の初代学長血脇守之助先生の友人として出席された後藤新平南満州鉄道総裁の挨拶の言葉です。この後、東京歯科大学が幾多の困難（この白亜の校舎も17年後には関東大震災によって焼失し、すべての資産を失う）を無事に乗り越えられたのは、この言葉の力ではなかったのかと思っています。本学は、移転という大事業を成し遂げた今こそ、後藤新平先生の**「失敗を恐れず、全力を尽くせ」**というエールを心の中心におき、私達教職員一同が一致団結して、未来に向かった行動を起こす時であると深く自覚しております。

今回の水道橋畔の特集は医療連携についての座談会です。千代田区歯科医師会副会長の臼田 準先生と医療連携委員長の山下副病院長により、本学医療連携の現況と将来展望が語られています。東京歯科大学水道橋病院は、今後とも先生方と更なる連携強化を図って行く所存であります。何卒宜しくお願い申し上げます。

平成29年度 紹介元クリニック ランキング TOP 50

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1位 しまくら歯科クリニック | 14位 須賀歯科クリニック | 35位 ファミリア歯科 |
| 2位 AQUA日本橋DENTAL CLINIC | 14位 泉水歯科医院 | 35位 吉野デンタルクリニック |
| 3位 日本医科大学 呼吸ケアクリニック | 19位 たかしな歯科クリニック | 35位 水道橋歯科クリニック |
| 4位 市ヶ谷番町歯科クリニック | 20位 タナカ歯科 | 35位 前島歯科医院 |
| 5位 小岩歯科医院 | 21位 スマイルデンタルクリニック | 39位 いちかわ歯科医院 |
| 6位 エーデルワイス歯科クリニック | 21位 医療法人社団キャビネ・ラピヌー | 39位 三井物産歯科診療所 |
| 6位 原歯科医院 | 21位 黒田歯科医院 | 41位 吉田歯科医院 |
| 8位 宇田川歯科医院 | 24位 はま歯科 | 41位 堀歯科医院 |
| 9位 本郷さくら矯正歯科 | 24位 ハルデンタルクリニック | 43位 酒井歯科 |
| 10位 歯科三枝 | 24位 荻窪駅前デンタルオフィス | 44位 アポロ歯科・矯正歯科 |
| 10位 鍋山歯科クリニック | 27位 はつかわ歯科・矯正歯科クリニック | 44位 王子リボン歯科・矯正歯科 |
| 12位 坂東歯科医院 | 27位 吉祥寺セントラルクリニック | 44位 沼澤歯科医院 |
| 12位 松翁会歯科診療所 | 27位 自由が丘セントラル矯正歯科 | 44位 池袋ファースト歯科クリニック |
| 14位 MOMO DENTAL CLINIC | 27位 駿河台・デンタルオフィス | 48位 チャーミーデンタルクリニック |
| 14位 山根歯科医院 | 31位 東大泉歯科医院 | 48位 吉田デンタルクリニック |
| 14位 小坂矯正歯科 | 32位 吉井矯正歯科 調布クリニック | 50位 奥田歯科医院 |
| | 32位 大崎シティデンタルクリニック | 50位 亀戸ステーション歯科クリニック |
| | 34位 オーラルデザイン下北沢・矯正歯科 | 50位 板橋グレース歯科医院 |

多くの患者様をご紹介いただきまして、有り難うございます。

【対談】 東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携について



東京歯科大学水道橋病院
地域医療連携委員会学外委員
千代田区歯科医師会副会長

白田 準

東京歯科大学水道橋病院
地域医療連携委員会委員長
東京歯科大学水道橋病院副病院長

山下 秀一郎

本日は、東京歯科大学水道橋病院の地域医療連携委員会に関して、地域医療連携委員会委員長 山下先生並びに地域医療連携委員会学外委員 白田先生にそれぞれの想いを伺わせていただければと思います。まず、山下先生からこの委員会を始められた経緯についてお話を聞きたいと思っています。

山下 医療連携には、地元の先生から難しい症例の患者さんをご紹介いただき、大学病院で治療するというケースと、歯科だけでは難しい患者さんを医科と連携しながら診察するというケースがあります。大学病院が単独で診療体系を完結するのではなく、各所からご紹介いただき、また逆に患者さんをご紹介するという流れを、システムとして持つために出来たのが東京歯科大学水道橋地域医療連携委員会です。平成 25 年の 12 月から組織化し、外部の先生方にもメンバーに入ってもらい、整備してきました。

白田 開業医が難しい症例の患者さんを大学にお願いして治療していただくという紹介の形は、それこそ何十年も前からありました。ただ、その紹介がうまくいく場合もあれば、スムーズにいかない場合もあります。スムーズに紹介ができて、お互いに納得できる治療を進められることが、患者さんには大事です。そのためには両者が課題となっていることをどう解決できるかという意識を常に持って、連携することが必要です。この委員会ですらそれが実現できると思ったので、参加させていただきました。今後連携がさらに頻繁となり普及し、紹介を受けた患者さんが治療に満足して、また地域へ戻るといったものがあるべき姿だと思っています。

山下 これまでは、ご紹介いただいた先生のことをよく存じ上げないで、紹介状だけが接点となることもありましたが、こちらでの治療が済み、患者さんをまた地域へ

お返しするときに書類上のやりとりだけで済んでしまうということが大半でした。

患者さんが元の医院に戻ったかどうか分からないという(笑)。

山下 そうなんです。ある程度、顔と顔が見えるような形で、連携をシステムとして構築するのが委員会を発足した目的です。その中の活動として年に1回ですが、医療連携報告会を大学で開催し、新しい技術などをご紹介しています。連携している開業医の先生方と、その場で話し合いながら親睦を深めるというもう一つの目的もあります。



白田 そもそも紹介って、患者さんを紹介する、つまり人間同士のつながりだと思うのです。紹介する側、される側の双方で顔が見えないと、スムーズに行かないこともあるのかと思います。この会が出来た当初から、顔が見える連携を叶えれば素晴らしい連携ができると目標にしていました。報告会のあとに懇親会を開き、実際顔が見えて、その場で先生に患者さんをご紹介するケースや、紹介までいかなかったり、ちょっとした相談ができるような関係ができました。

発足されて4年半で随分変わられたんですね。紹介数も増えているのでしょうか？

山下 はい。増えています。最近は毎年10%ずつ増えており、昨年度は、年間で1万人を超える紹介患者さんが受診されました。

白田 千代田区内での紹介率が毎年上がっているということは、連携報告会をやってきた成果かと思います。千代田区歯科医師会では、東京歯科大学水道橋病院の認定証を受けているのが、60 医院。その中で同窓は約 15 医院しかいないんですよ（笑）。つまり他校の先生もかなりの数連携していただいていると。これは非常に誇れることかなと思います。

山下 非常にありがたいことです。

認定証があると、患者さんも悩まないですみますね。

山下 その通りです。先生同士が密に繋がっていると考えると、患者さんも安心しますよね。

白田 紹介する病院の選択がしやすいですよ。ただ紹介しただけだとその先生がどんな方なのかがわかりませんが、その先生の情報が事前であれば、その先生はここが専門でとってもいい先生、とってもしっかり見てくださる先生だよと。その一言があるだけでも患者さんは安心ですよ。紹介する側として、気をつけていきたいところですね。

そこを担うのが、年に1度開催されている医療連携報告会ですね。こちらも平成25年から活動を始められたのですか？

山下 その前からですね。ただ、報告会を現在のよう形式で開催するようになったのは医療連携委員会を立ち上げてからです。メインは専門的な最新情報の講演を聞いていただくことです。以前は講演会のみで、懇親会はなく、お弁当を休憩時間に食べてお開きという形だったのですが、顔が見える医療連携報告会でないといけないだろうということで、3年前から講演のあとに懇親会を開く形に変わりました。報告会、年々参加人数が増えているんです。前は400名以上でした。参加した先生にうかがうと、内容が非常によく、もっと聞きたいって皆さんおっしゃるんですよ。今後の課題としては、1つのテーマをもっと掘り下げてお話しいただくのがいいのかとか、もしくは連携している医院側からのリクエストを受けるのがいいのか、講演テーマについても考えていきたいと思えます。あと、医療連携委員会の目的になっていますが、

まだ推進できていないのが、地域の住民向けにに機会を作るといことです。こちら、今後取り組んでいきたいと思えます。

これからの課題が少しでしたが、今後の医療連携についてお二方の想いをお聞かせください。

山下 地域との連携はもちろんですが、医科との連携も今後はニーズが高いのかなと思います。全身疾患の患者さんへの口腔衛生管理とか、摂食嚥下障害など医科の先生と連携していくことも使命だと思っています。

白田 高齢化社会に向けて、例えば介護とか訪問診療といったことに我々開業医も接していくわけですが、そこでも連携が必要です。嚥下・摂食って、最近のテーマですよ。



山下 そうですね、最近非常に注目されているテーマです。そういう最新の内容をわかりやすく伝えていくことも使命だと思えます。

白田 大学を卒業してしまうと、なかなか新しいことを学ぶチャンスもなくなります。でも連携していれば、新しい知識情報が入ってくる、それがいいことだと思います。

山下 今後は報告会以外でも少しずつ情報発信ができるようにしていきたいと考えています。

白田 その新しい気づきが開業医の意識を変えていけます。医科や住民を含めて具体的に連携ができるようにしていきたいですね。まずは、なにか患者さんに伝えられる事前情報とかがあると嬉しいですね。

山下 現在はドクターとともに事務系スタッフを加え、紹介のあった患者さんに関わるデータを集めて、医療連携室できちんとアフターケアを管理するようにしています。今後はその辺りでももう少し相互情報が整理出来るようになると思っています。

これからどんどん連携が広がっていくというわけですね。今日は本当にありがとうございました。



東京歯科大学水道橋病院
地域医療連携委員会学外委員
千代田区歯科医師会副会長

白田 準

(保険、公衆衛生、事業・医療改善、防災) 統括

白田歯科医院院長
(東京都千代田区)

昭和53年3月
東京歯科大学卒業



東京歯科大学水道橋病院
地域医療連携委員会委員長
東京歯科大学水道橋病院副院長

山下 秀一郎

パーソナルデンチャー補綴学講座
主任教授

昭和59年3月
東京医科歯科大学卒業



病院長 副病院長 副病院長 副病院長	矢島 安朝 末石 研二 山下 秀一 高野 正行	H30.6.1 現在
東京歯科大学水道橋病院 診療科担当医のご案内(レギュラースタッフ)		

診療科名	職名	氏名	講座名	
保存科	部長・教授	古澤 成博	歯内療法学	
	講師	山田 雅司 (間 奈津子)		
	助教	佐古 亮		
	教授	杉内 亜紀奈	歯周病学	
	医局長・講師	齋藤 淳		
	講師	勢島 典		
	助教	大井 麻子		
	教授	喜田 大智	保存修復学	
	准教授	今村 健太郎		
	講師	青木 栄人		
助教	村松 敬			
補綴科	准教授	杉戸 博記	老年歯科補綴学	
	講師	春山 亜貴子		
	助教	半場 秀典		
	教授	中村 圭喜	クラウンブリッジ 補綴学	
	准教授	櫻井 薫之		
	講師	上田 薫之		
	助教	石崎 憲		
	教授	竜 正大	パーシャルデンチャー 補綴学	
	助教	高野 智史		
	講師	太田 緑		
助教	和田 健			
口腔外科	部長・教授	佐藤 亨	口腔顎顔面外科学	
	医局長・講師	野本 俊太郎		
	講師	四ツ谷 護		
	助教	腰原 輝純	口腔病態外科学	
	教授	神田 雄平		
	助教	酒井 貴徳		
	講師	山下 秀一郎		
	教授	(田坂 彰規)	口腔顎顔面外科学	
	助教	森岡 俊行		
	講師	中村 恵子		
助教	古屋 克典			
歯科麻酔科	教授	大平 真理子	歯科麻酔学	
	客員教授	田中 章啓		
	医局長・講師	柴原 孝彦		
	講師	高野 正行	口腔顎顔面外科学	
	助教	齊藤 力		
	助教	山本 信治		
	助教	(渡邊 章)		
	矯正歯科	部長・教授	吉田 秀児	歯科矯正学
		准教授	大野 啓介	
		講師	山村 哲生	
部長・教授		片倉 朗	歯科矯正学	
准教授		関根 理予		
講師		笠原 清弘		
助教		別所 央城		
小児歯科		助教	菅原 圭亮	小児歯科学
		教授	西山 明宏	
		助教	高木 亮	
	部長・教授	一戸 達也	小児歯科学	
	部長代理・准教授	松浦 信幸		
	講師	半田 俊之		
	医局長・助教	久木留 宏和		
	小児歯科	助教	吉田 香織	小児歯科学
		部長・教授	末石 研二	
		准教授	西井 康	
講師		宮崎 晴代	小児歯科学	
医局長・講師		片田 英憲		
助教		石井 武展		
助教		(安村 敏彦)		
小児歯科		助教	海老澤 朋宏	小児歯科学
		部長・教授	内山 沙姫	
		医局長・講師	新谷 誠康	
	講師	辻野 啓一郎	小児歯科学	
	助教	櫻井 敦朗		
	助教	本間 宏実		
	助教	荒井 亮		

診療科名	職名	氏名	講座名
口腔インプラント科	部長・教授	矢島 安朝	口腔インプラント学
	講師	本間 慎也 (佐々木 穂高)	
	医局長・講師	高梨 琢也	
	助教	守 源太郎	
	助教	吉田 光孝	
	助教	平野 友基	
スペシャルニーズ歯科・ ペインクリニック科	科長・教授	福田 謙一	口腔健康科学
	准教授	大多和 由美	
	医局長・助教	半沢 篤	
	助教	野口 智康	
健康スポーツ歯科	科長・教授	武田 友孝	口腔健康科学
	医局長・講師	中島 一憲	
摂食嚥下 リハビリテーション科	科長・教授	石田 瞭	口腔健康科学
	医局長・准教授	大久保 真衣	
放射線科	部長・教授	後藤 多津子	歯科放射線学
	准教授	和光 衛	
	医局長・講師	音成 美佳	
	助教	渡邊 素子	
臨床検査科	部長・教授	井上 孝	臨床検査病理学
	教授	松坂 賢一	
	講師	村上 聡	
	助教	國分 克寿	
内科	助教	中島 啓	内科
	教授	大久保 剛	
	科長・准教授	山岸 由幸	
眼科	准教授	仁科 牧子	眼科
	科長・教授	ピッセン 弘子	
	講師	平沢 学	
助教	太田 友香		

水道橋病院 診療案内

初診受付	平日・土曜とも8:50~11:00
お問い合わせ時間	平日8:45~18:00 土曜8:45~13:00
休診日	第2土曜・日曜・祝日・ 本学創立記念日(2/12)・年末年始

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせくださいますようお願いいたします。

5階	内科	03-5275-1926
4階	口腔外科	03-5275-1725
	歯科麻酔科	03-5275-1851
	放射線科	03-5275-1953
3階	補綴科	03-3262-3425・3426
	口腔インプラント科	03-5275-1760
	小児歯科	03-5275-1723
	矯正歯科	03-5275-1724
	スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	03-5275-1795
	摂食嚥下リハビリテーション科	03-5275-1732
	眼科	03-5275-1856
2階	保存科	03-5275-1721・1722
	健康スポーツ歯科	03-5275-1721・1722
1階	医事課	03-5275-1932
	地域医療連携室	03-5275-1732

コラム

東京歯科大学歯科矯正学講座 教授 末石 研二
不正咬合の起源はいつか。



アフリカで人類が獲得した直立歩行と前頭葉の発達
は頭蓋底の前方回転をもたらし、吻の消失、顎骨の後退をもたらした。同時に、火の使用による咀嚼負荷の軽減は歯数の減少と歯列の縮小を可能とした。とはいえ、ネアンデルタール人や北京原人は大きな顎骨を持ち、叢生を示す個体は少ない。固い肉と木の実を摂取する原始的社会では強い淘汰作用が働き、良い咀嚼機能・咬合を持つもののみが生存可能となる。また、閉鎖的環境の中でその集団固有の顔面形態と咬合関係が形成される。

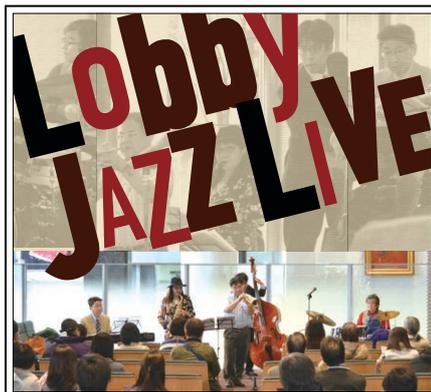
ホモ・サピエンスに至り、狩猟生活から農耕へと進むと、大きな変化が生じた。集団社会の成立と食性変化の影響は歯列・咬合へも現れた。叢生の出現である。日本人においても縄文時代人の歯は小さく、咬耗により叢生はなく、成人においては鉗子状咬合が

一般的であった。弥生時代に入り、稲作をもたらした北方系のモンゴロイドは縄文時代人よりも大きな歯を持ち、咬耗の減少により咬合様式は缺状咬合へと変化する中で、叢生が出現する。時代を経るに従い、咀嚼機能と咬合は生存競争の大きな要因ではなくなり、多様



な顔面骨格形態と咬合状態の存在をもたらしたと考えられる。

進化の結果、人類は文明を築き、飛躍的な長寿と高度な知識を手に入れたが、同時に不正咬合も得たことになる。宿命かもしれない。矯正歯科医よ、頑張ろう。



第1回水道橋病院ロビーコンサート

平成30年1月27日(土)午後2時30分より、水道橋病院1階待合ロビーにおいて、第1回水道橋病院ロビーコンサートが開催されました。

石塚康也先生(昭和57年卒)を中心とする、春日芳彦先生(昭和56年卒)堀部元雄先生(昭和59年卒)らのジャズバンド(石塚バンド)の公演が行われました。トランペット、ピアノ、サクソ、ベース、ドラムスの5名編成で、「Days Of Wine And Roses」「St. Thoms」「Samba De Orfeu」等の名曲が披露されました。

当日は70名の方々が集まり、軽快なジャズの演奏に耳を傾け、盛大かつ和やかにコンサートは終了しました。



東京歯科大学 水道橋病院

住所	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18
電話番号	03-3262-3421 (代表)
ホームページ	http://www.tdc.ac.jp/sh/



東京歯科大学水道橋病院

検索

編集後記

関東地方の梅雨が観測史上初めて6月中に明け、西日本では未曾有の豪雨による水害が起り、その後は異常高温が続き、暑い夏がやってきました。そんな中、水道橋畔発は今号からリニューアルしました。大学移転事業もひと段落し、水道橋病院は箱も中身もすっかり落ち着きを取り戻しました。その流れで本号からは全体のレイアウトを変更し、トピックスを中心に、読みやすくしました。これからは、より一層地域との医療連携に焦点をあて、皆様と共に患者中心の医療を目指してまいります。

(片田 英憲 記)